

GARMIN使用説明書



打席に入ってからの基本操作

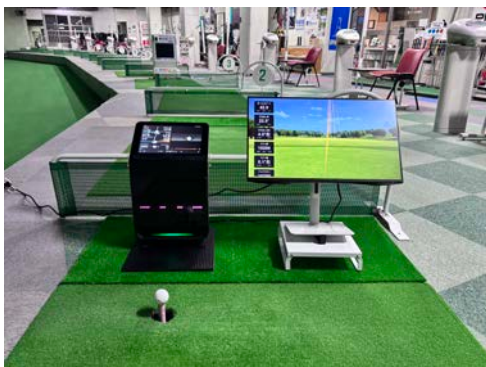
①タブレット画面の操作（クラブ選択）



打席に入って最初の画面



番手選択



タブレット操作完了

・使用するクラブを選択します。

※データに影響はありません。8Iを選択して、ドライバーを打てばドライバーの数値が出ます。

・本体画面内下（上記画像で”8番アイアン”とあるところ）をタップすると番手選択画面に切り替わります。

・使用するクラブをタップすると設定完了です。

・その後も同じ操作で使用番手を変更できます。

②ボールのセット方法

※GARMINは計測するために、ボールを計測可能な領域にセットする必要があります。ドライバーで打つ場合（ティーから打つ）とアイアンで打つ場合でセット方法が変わります。

◆ボールの認識



赤 計測不可 🙅



緑 計測可能 🙇

■ドライバーで打つ場合



・ティーの高さを30～45に設定します。

※低すぎると計測できません😞

・GARMIN本体は、上記の高さにティーをあげると自動でセットする位置に置いています。

緑のライトが点灯したことを確認してショットしてください。

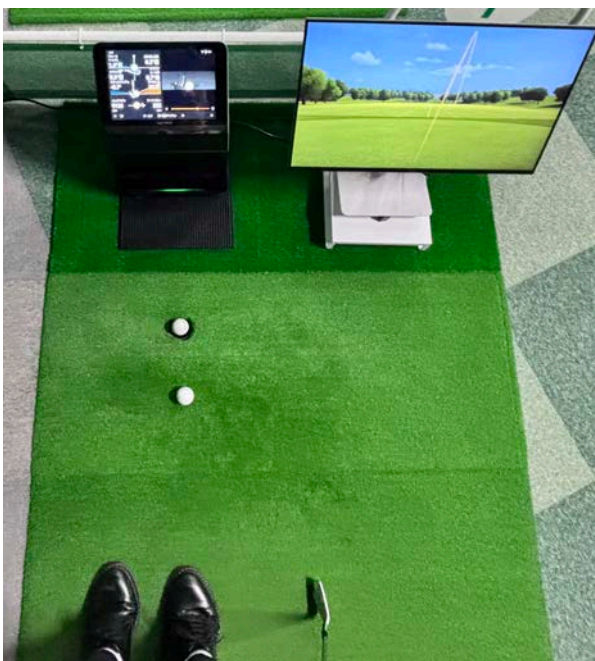
■ アイアンで打つ場合（地面から打つ場合）



① ティーを0にする



② ボールを領域にセットする



大体このくらいの位置です😊

①はじめにティーの高さをゼロにします。

（※ティーを低くすることで、ティー上のボールを読み取らないようにしています。）

②ティーアップ機からボールを落とし、計測領域にボールを置きます。

※画面上に領域への誘導があります。

上記画像のように緑色になればOKです。

（若干左サイドの方が領域が広いです😊）

③GARMIN本体の緑のライトが点灯したことを確認してショットしてください。

各画面について

①弾道マップ



- ・ ネットから先の弾道を視認できます
- ・ サイドにボールデータの表示があり
飛距離、打ち出し等の数値がわかります

※レンジボールのままの換算なしのデータとなっております。コースボールよりも距離が出ません。

②インパクトデータ



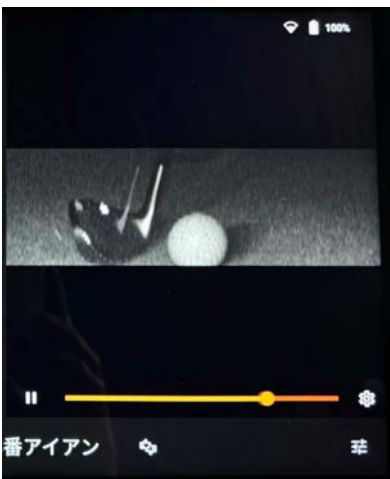
- ・ インパクト前後のクラブとボールの動きを描写しています。

- ・ 弾道に直接影響を与える”アタックアングル”、”クラブパス”、”フェース角”のデータを確認できます。

※副支配人おすすめの画面です

※クラブデータの表示にはステッカーの貼り付けが必要です。

③インパクト動画



- ・ クラブフェースが実際にどのようにボールにヒットしているかを、スロー動画で再生しています。

応用的な使い方

①クラブデータの取得方法



・写真のようにフェイス真ん中、上部に専用のステッカーを1枚貼り付けます。

※純正ステッカーは受付で5枚100円で販売しております。ウッド類などステッカーが剥がれやすい場合上からセロハンテープを貼ることで補強できます。

※ステッカーをつけると、クラブデータが表示されます。クラブデータ（入射角、クラブパス、フェイスの向き）を読み取ることで、ミスやスイングの分析が可能になります。

②MR茨戸CC等コースのラウンド



・MR茨戸CC等のコースをラウンドシミュレーションすることができます。

※現在は”MR茨戸CC”、”小樽CC”、”輪厚コース”、”東京よみうり”、”オーガスタ”、”セントアンドリュース” ”トリーパインズGC”がプレイできます。

※コースをプレイする際はスタッフまでお声掛けください！ 🙋

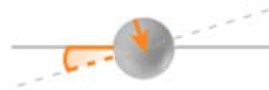
データについて

◆ ボールデータ

1. **ボールスピード**：インパクト直後のボールの速度。
2. **打ち出し角**：ボールが飛び出す角度
3. **打ち出し方向**：ターゲットラインに対するボールの打ち出し方向
4. **スピン量**：インパクト直後のボールの回転速度
5. **スピン軸の傾き**：ボールのスピン軸の傾き角度
6. （軸が**左傾斜（-）**の場合は**フック回転**、**右傾斜（+）**の場合は**スライス回転**になります。）

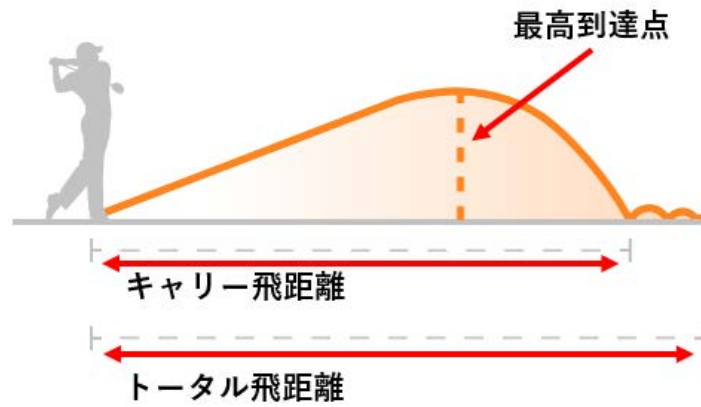


スピン量

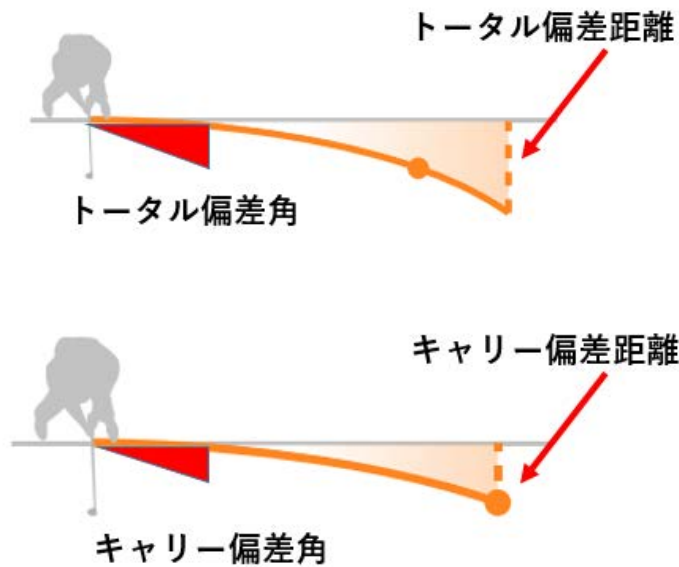


スピン軸の傾き

7. **バックスピン**：インパクト後のボールの後ろ方向への回転数
（ロフト角が大きいクラブを使い、マイナスの値のアタックアングルで打つことで、バックスピン量を増やすことができます。）
8. **サイドスピン**：インパクト後のボールの横方向への回転数
9. **トータル飛距離**：ランも含む飛距離
10. **キャリー飛距離**：落下地点までの飛距離
11. **最高到達点（Apex Height）**：ショットの最高到達点。

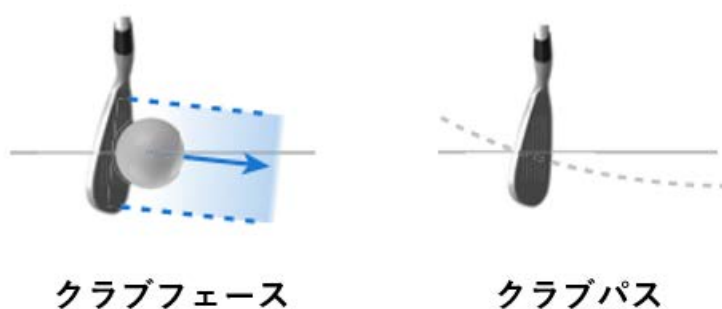


- 12. **トータル偏差角**：以下の画像を参照
- 13. **トータル偏差距離**：以下の画像を参照
- 14. **キャリー偏差角**：以下の画像を参照
- 15. **キャリー偏差距離**：以下の画像を参照

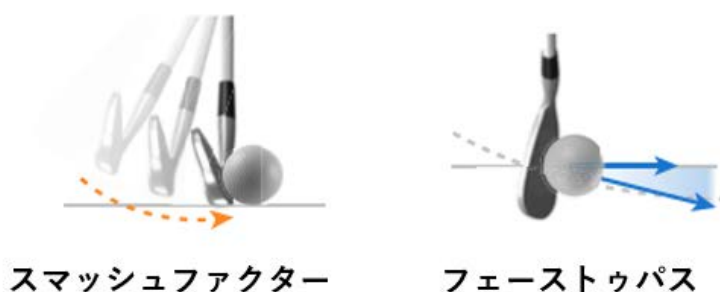


◆ クラブデータ

1. ヘッドスピード：インパクト直前のクラブヘッドのスピード
2. アタックアングル（入射角）：インパクト時のクラブヘッドの上下の動き
（ダウブロー（－）、アッパーブロー（＋））
3. クラブパス：インパクト時の目標線に対するクラブヘッドの動き
4. クラブフェース角：インパクト時の目標線に対するフェイスの



5. フェーストゥパス：フェイスアングルとクラブパスの角度差のこと。
（クラブパスに対して、フェイスが右（＋）を向いているか、左（－）を向いているか）
6. スマッシュファクター（ミート率）：ボールスピード ÷ ヘッドスピード
（ヘッドスピードが40m/s、ボールスピードが60m/sの場合、スマッシュファクターは1.5となります。）



※クラブデータの表示にはステッカーの貼り付けが必要です。

注意事項

- ①GARMINの設定を勝手に変更しないようお願い致します。
- ②ご自身のアカウントを追加しないようお願い致します。
- ③マップの表示や、動作がおかしい場合は打席タワーの呼び出しボタンを押し、スタッフをお呼びください。
- ④GARMIN本体を勝手に動かさないようお願い致します。
- ⑤破損につながる行為に注意してください。
※マット左側から、右方向を狙って打つなど、実弾道がGARMIN本体、モニターと接触しそうになるショットはおやめください。
- ⑥その他ご不明な点があればお気軽にスタッフにお声かけください。

特記事項

- ①GARMIN R50はボールデータを補正していません。理由は大型室内練習場ゆえの30ヤードの実弾の打出しの感覚と数値を合わせるためです。そのためレンジボールの特徴（初速が出にくい、ショットでスピンの入りやすい、捕まりにくい）がそのままにデータに出ます。ストレートの弾道で1割ほどコースよりも飛ばない印象です。そのことを考慮してボールデータをご確認ください。
- ②アライメントは正面ネット中央（マットのアライメント通り）に設定しています。その点を注意して弾道データを確認ください。